

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

## ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。

標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット

高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）

特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。



システム・リセット端子付き低飽和形安定化電源回路

μPC2250 シリーズは、入力電圧の低下を検出し、リセット信号を出力する端子を備えた低飽和 4 端子安定化電源回路です。

入力電圧遮断時に出力端子へ電圧が印加されても逆リーク電流は 1 μA 程度ですので、バッテリー・バックアップが必要なマイクロプロセッサ搭載システムなどの電源回路用に最適です、

特 徴

- 最小入出力間電圧差が小さい。
- $V_{DIF} = 0.15 \text{ V TYP.}$  ( $I_o = 40 \text{ mA}$  時)
- 入力電圧不足時や出力電圧不足時にリセット信号(アクティブ・ロウ)を出力します。
- バックアップ時の逆リーク電流が小さい。
- $I_{OLK} = 1 \mu\text{A TYP.}$
- 無負荷時回路動作電流が小さい。
- $I_{BIAS} = 1.3 \text{ mA TYP.}$

端子接続図 (Marking Side)

4ピン・プラスチックSIP (TO-126)  
μPC2251H, 2253H, 2255H

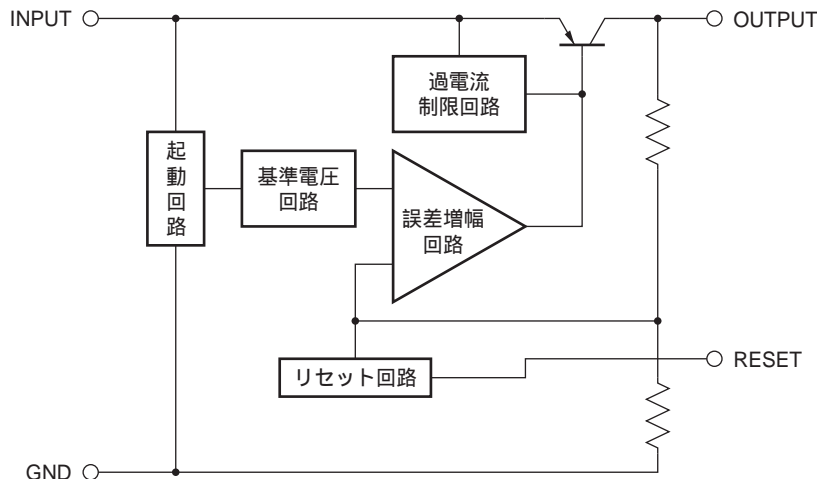


- 1: INPUT
- 2: RESET
- 3: GND
- 4: OUTPUT

オーダ情報

オーダ名称	パッケージ	出力電圧
μPC2251H	4ピン・プラスチックSIP (TO-126)	3V
μPC2253H	4ピン・プラスチックSIP (TO-126)	5V (TYPE1)
μPC2255H	4ピン・プラスチックSIP (TO-126)	5V (TYPE2)

ブロック図



本資料の内容は予告なく変更することがありますので、最新のものとであることをご確認の上ご使用ください。

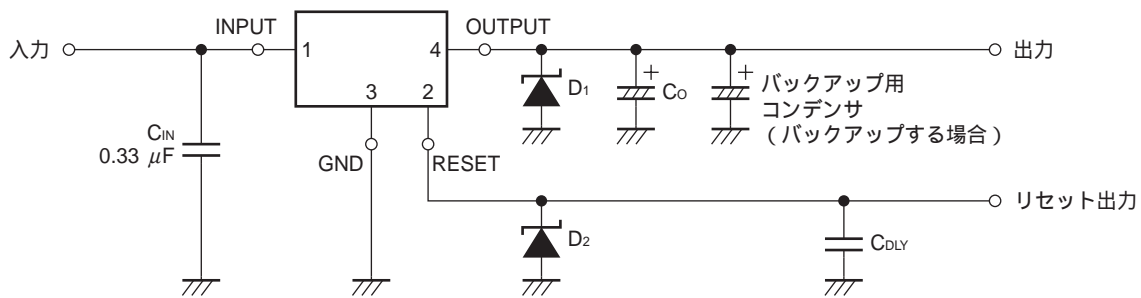
絶対最大定格（特に指定のないかぎり， $T_A = 25$ ）

項目	略号	定格	単位
入力電圧	$V_{IN}$	- 0.3 ~ + 12	V
全損失	$P_T$	1.2 <sup>注</sup>	W
動作周囲温度	$T_A$	- 20 ~ + 85	
動作接合温度	$T_J$	- 20 ~ + 150	
保存温度	$T_{stg}$	- 55 ~ + 150	
接合 ケース間熱抵抗	$R_{th(J-C)}$	10	/W
接合 周囲空気間熱抵抗	$R_{th(J-A)}$	104	/W

注 内部回路で制限されます。 $T_J > 150$  では内部保護回路が出力を遮断します。

注意 各項目のうち 1 項目でも、また一瞬でも絶対最大定格を越えると、製品の品質を損なうおそれがあります。つまり絶対最大定格とは、製品に物理的な損害を与えかねない定格値です。必ずこの定格を越えない状態で、製品をご使用ください。

標準接続



$C_{IN}$  : 容量値は電源平滑回路と入力端子とのラインに応じて選定してください。異常発振防止のため必ず接続してください。使用するコンデンサには、フィルム・コンデンサのような電圧特性、温度特性に優れたものを推奨します。積層セラミック・コンデンサには温度特性や電圧特性が悪いものがありますので注意してください。積層セラミック・コンデンサを使用する場合、使用する電圧、温度範囲でこの容量値が確保できる必要があります。

$C_O$  : 10  $\mu F$  以上。発振防止、過渡負荷安定度向上のため必ず接続してください。

$C_{IN}$ ,  $C_O$  は IC の端子のできるだけ近く（1~2 cm 以内）に接続してください。

$D_1$ ,  $D_2$  : OUTPUT 端子, RESET 端子が GND 端子より低電圧になる場合はショットキー・バリア・ダイオード（順電圧の低いダイオード）を接続してください。

μPC2251

推奨動作条件

項目	略号	MIN.	TYP.	MAX.	単位
入力電圧	V <sub>IN</sub>	3.5	4	9	V
出力電流	I <sub>o</sub>	0		40	mA
動作接合温度	T <sub>J</sub>	- 20		+ 125	

注意 絶対最大定格を越えなければ推奨動作条件以上でご使用になっても問題ありません。ただし、絶対最大定格との余裕が少なくなりますので十分ご評価の上ご使用ください。また、推奨動作条件はすべて MAX.値で使用できることを規定するものではありません。

電気的特性 (特に指定のないかぎり, V<sub>IN</sub> = 4 V, I<sub>o</sub> = 40 mA, T<sub>J</sub> = 25, C<sub>IN</sub> = 0.33 μF, C<sub>o</sub> = 10 μF)

項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
出力電圧	V <sub>O1</sub>		2.88	3.00	3.12	V
	V <sub>O2</sub>	3.5 V V <sub>IN</sub> 9 V, I <sub>o</sub> 40 mA, 0 T <sub>J</sub> 125	2.85		3.15	V
入力安定度	REG <sub>IN</sub>	3.5 V V <sub>IN</sub> 12 V			50	mV
		3.5 V V <sub>IN</sub> 9 V			20	mV
負荷安定度	REG <sub>L</sub>	1 mA I <sub>o</sub> 100 mA			50	mV
		1 mA I <sub>o</sub> 40 mA			20	mV
回路動作電流	I <sub>BIAS</sub>	I <sub>o</sub> = 0 A			2.0	mA
		I <sub>o</sub> = 100 mA		8.0		mA
回路動作電流変化量	ΔI <sub>BIAS</sub>	4 V V <sub>IN</sub> 12 V			1.0	mA
出力雑音電圧	V <sub>n</sub>	10 Hz f 100 kHz		70		μV <sub>r.m.s.</sub>
リップル除去率	R•R	f = 120 Hz, 4 V V <sub>IN</sub> 9 V	48			dB
最小入出力間電圧差	V <sub>DIF</sub>	I <sub>o</sub> = 40 mA, 0 T <sub>J</sub> 125		0.15	0.30	V
出力短絡電流	I <sub>Oshort</sub>	V <sub>IN</sub> = 12 V		15		mA
ピーク出力電流	I <sub>Opeak</sub>	V <sub>IN</sub> = 4 V		150		mA
出力電圧温度変化	ΔV <sub>o</sub> /ΔT	I <sub>o</sub> = 5 mA, 0 T <sub>J</sub> 125		0.2		mV/
オフ時出力リーク電流	I <sub>OLK</sub>	V <sub>IN</sub> = 0 V, V <sub>o</sub> = 3.0 V			10	μA
リセット開始出力電圧	V <sub>ORT</sub>	0 T <sub>J</sub> 125	V <sub>O1</sub> - 0.2		V <sub>O1</sub> - 0.1	V
リセット出力飽和電圧	V <sub>RT(sat)</sub>	I <sub>R</sub> = 1.6 mA			0.8	V

μPC2253

推奨動作条件

項目	略号	MIN.	TYP.	MAX.	単位
入力電圧	$V_{IN}$	5.5	6	12	V
出力電流	$I_o$	0		40	mA
動作接合温度	$T_J$	- 20		+ 125	

注意 絶対最大定格を越えなければ推奨動作条件以上でご使用になっても問題ありません。ただし、絶対最大定格との余裕が少なくなりますので十分ご評価の上ご使用ください。また、推奨動作条件はすべて MAX.値で使用できることを規定するものではありません。

電気的特性 (特に指定のないかぎり,  $V_{IN} = 6V$ ,  $I_o = 40\text{ mA}$ ,  $T_J = 25$ ,  $C_{IN} = 0.33\ \mu\text{F}$ ,  $C_o = 10\ \mu\text{F}$ )

項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
出力電圧	$V_{O1}$		4.8	5.0	5.2	V
	$V_{O2}$	$5.5V \leq V_{IN} \leq 12V$ , $I_o = 40\text{ mA}$ , $0 \leq T_J \leq 125$	4.75		5.25	V
入力安定度	$REG_{IN}$	$5.5V \leq V_{IN} \leq 12V$			30	mV
負荷安定度	$REG_L$	$1\text{ mA} \leq I_o \leq 100\text{ mA}$			80	mV
		$1\text{ mA} \leq I_o \leq 40\text{ mA}$			30	mV
回路動作電流	$I_{BIAS}$	$I_o = 0\text{ A}$			2.0	mA
		$I_o = 100\text{ mA}$		8.0		mA
回路動作電流変化量	$\Delta I_{BIAS}$	$6V \leq V_{IN} \leq 12V$			1.0	mA
出力雑音電圧	$V_n$	$10\text{ Hz} \leq f \leq 100\text{ kHz}$		130		$\mu\text{V}_{r.m.s.}$
リップル除去率	$R \cdot R$	$f = 120\text{ Hz}$ , $6V \leq V_{IN} \leq 11V$	46			dB
最小入出力間電圧差	$V_{DIF}$	$I_o = 40\text{ mA}$ , $0 \leq T_J \leq 125$		0.15	0.30	V
出力短絡電流	$I_{Oshort}$	$V_{IN} = 12V$		15		mA
ピーク出力電流	$I_{Opeak}$	$V_{IN} = 6V$		150		mA
出力電圧温度変化	$\Delta V_o / \Delta T$	$I_o = 5\text{ mA}$ , $0 \leq T_J \leq 125$		0.3		mV/
オフ時出力リーク電流	$I_{OLK}$	$V_{IN} = 0V$ , $V_o = 5.0V$			10	$\mu\text{A}$
リセット開始出力電圧	$V_{ORT}$	$0 \leq T_J \leq 125$	2.70	2.85	3.00	V
リセット出力飽和電圧	$V_{RT(sat)}$	$I_R = 1.6\text{ mA}$			0.8	V

μPC2255

推奨動作条件

項目	略号	MIN.	TYP.	MAX.	単位
入力電圧	V <sub>IN</sub>	5.5	6	12	V
出力電流	I <sub>o</sub>	0		40	mA
動作接合温度	T <sub>J</sub>	- 20		+ 125	

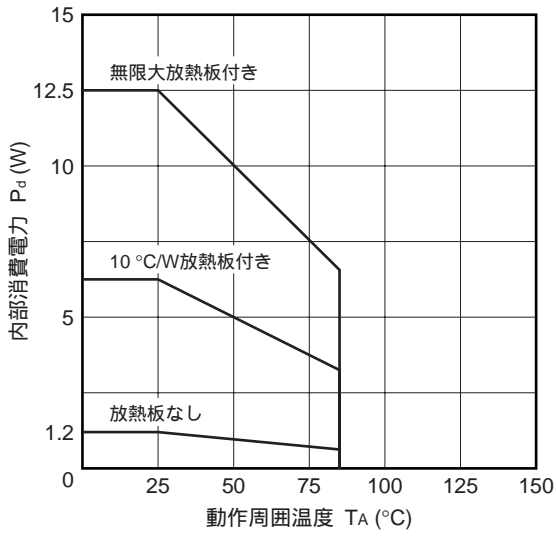
注意 絶対最大定格を越えなければ推奨動作条件以上でご使用になっても問題ありません。ただし、絶対最大定格との余裕が少なくなりますので十分ご評価の上ご使用ください。また、推奨動作条件はすべて MAX.値で使用できることを規定するものではありません。

電気的特性 (特に指定のないかぎり, V<sub>IN</sub> = 6 V, I<sub>o</sub> = 40 mA, T<sub>J</sub> = 25, C<sub>IN</sub> = 0.33 μF, C<sub>o</sub> = 10 μF)

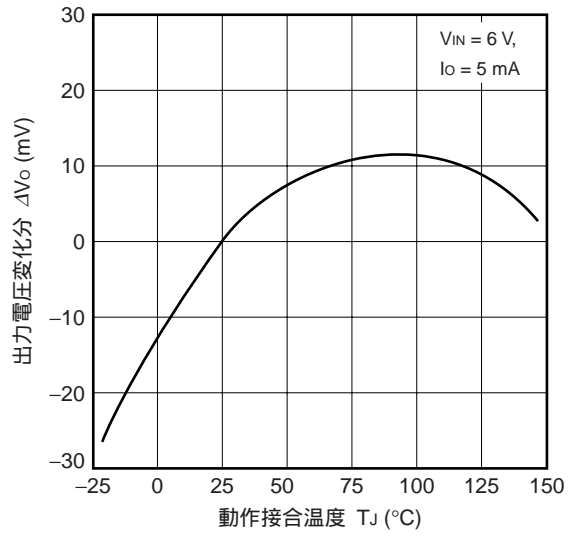
項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
出力電圧	V <sub>O1</sub>		4.8	5.0	5.2	V
	V <sub>O2</sub>	5.5 V V <sub>IN</sub> 12 V, I <sub>o</sub> 40 mA, 0 T <sub>J</sub> 125	4.75		5.25	V
入力安定度	REG <sub>IN</sub>	5.5 V V <sub>IN</sub> 12 V			30	mV
負荷安定度	REG <sub>L</sub>	1 mA I <sub>o</sub> 100 mA			80	mV
		1 mA I <sub>o</sub> 40 mA			30	mV
回路動作電流	I <sub>BIAS</sub>	I <sub>o</sub> = 0 A			2.0	mA
		I <sub>o</sub> = 100 mA		8.0		mA
回路動作電流変化量	ΔI <sub>BIAS</sub>	6 V V <sub>IN</sub> 12 V			1.0	mA
出力雑音電圧	V <sub>n</sub>	10 Hz f 100 kHz		130		μV <sub>r.m.s.</sub>
リップル除去率	R•R	f = 120 Hz, 6 V V <sub>IN</sub> 11 V	46			dB
最小入出力間電圧差	V <sub>DIF</sub>	I <sub>o</sub> = 40 mA, 0 T <sub>J</sub> 125		0.15	0.30	V
出力短絡電流	I <sub>Oshort</sub>	V <sub>IN</sub> = 12 V		15		mA
ピーク出力電流	I <sub>Opeak</sub>	V <sub>IN</sub> = 6 V		150		mA
出力電圧温度変化	ΔV <sub>o</sub> /ΔT	I <sub>o</sub> = 5 mA, 0 T <sub>J</sub> 125		0.3		mV/
オフ時出力リーク電流	I <sub>OLK</sub>	V <sub>IN</sub> = 0 V, V <sub>o</sub> = 5.0 V			10	μA
リセット開始出力電圧	V <sub>ORT</sub>	0 T <sub>J</sub> 125	V <sub>O1</sub> - 0.3		V <sub>O1</sub> - 0.2	V
リセット出力飽和電圧	V <sub>RT (sat)</sub>	I <sub>R</sub> = 1.6 mA			0.8	V

特性曲線 (特に指定のないかぎり,  $T_A = 25$  , 参考値)

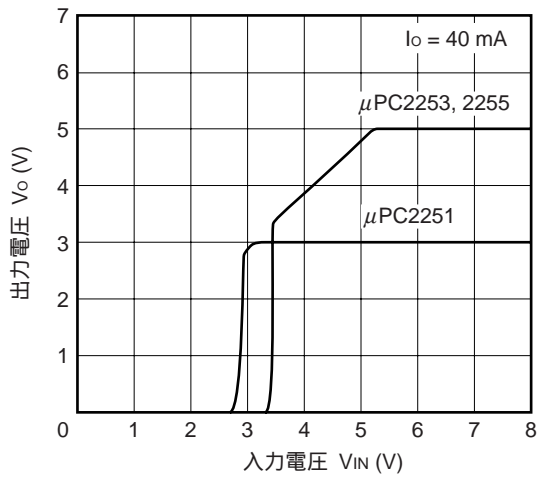
$P_d - T_A$  特性



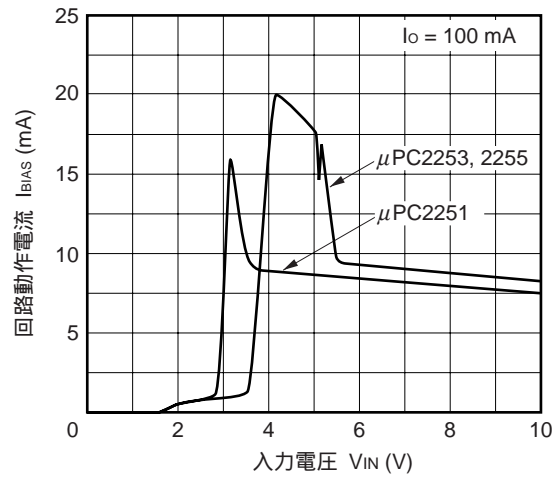
$\Delta V_o - T_J$  特性



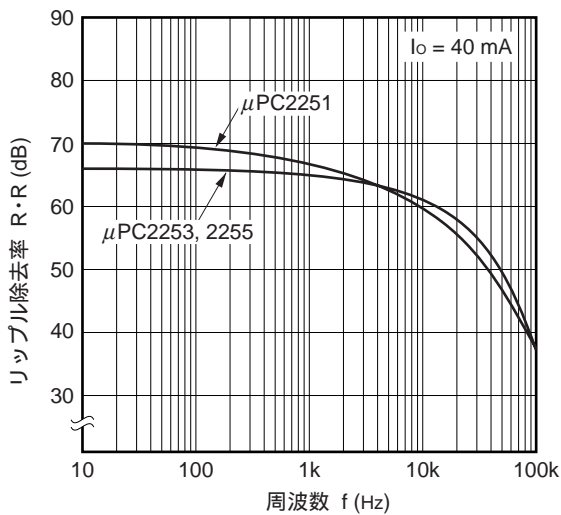
$V_o - V_{IN}$  特性



$I_{BIAS} - V_{IN}$  特性

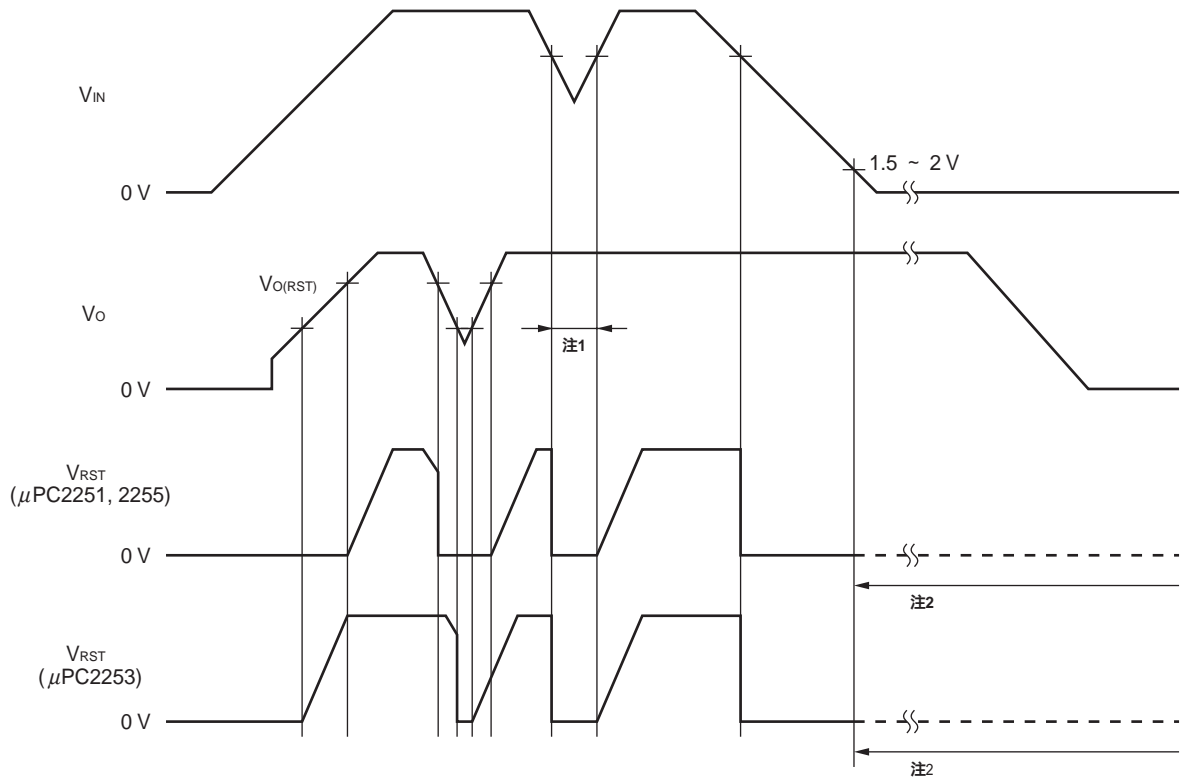


$R \cdot R - f$  特性





リセット出力特性 (標準接続時)



- 注 1. 入力電圧が出力電圧よりも低下しバックアップ状態に入ると、リセット信号が出力されます。
- 2. 入力電圧が 1.5 ~ 2V 以下になると、リセット出力は不定になります。

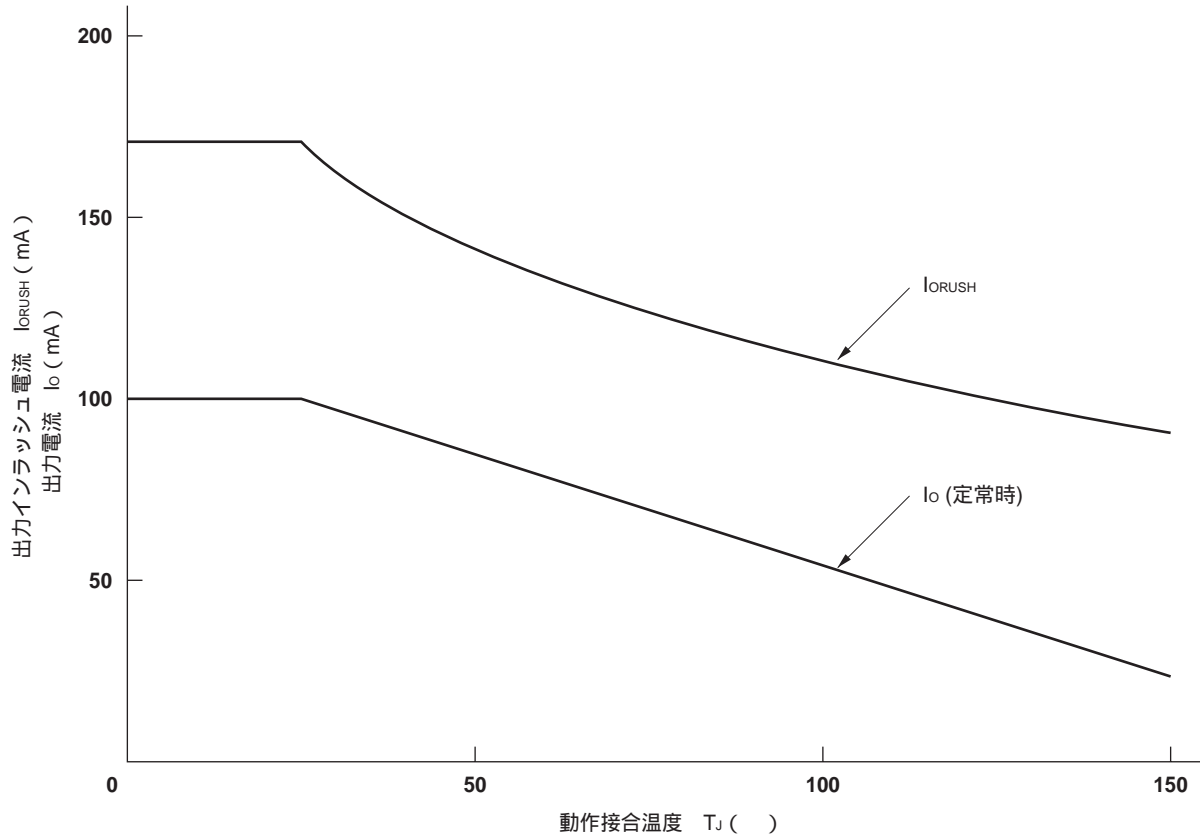
使用上の注意事項

μPC2250 シリーズの出力電流は動作接合温度 ( $T_J$ ) に対して、図 1 の  $I_o$  (定常時) 以下になるようにしてください。

また、起動時は出力コンデンサへの突入電流も含め、図 1 の  $I_{ORUSH}$  以下にしてください。

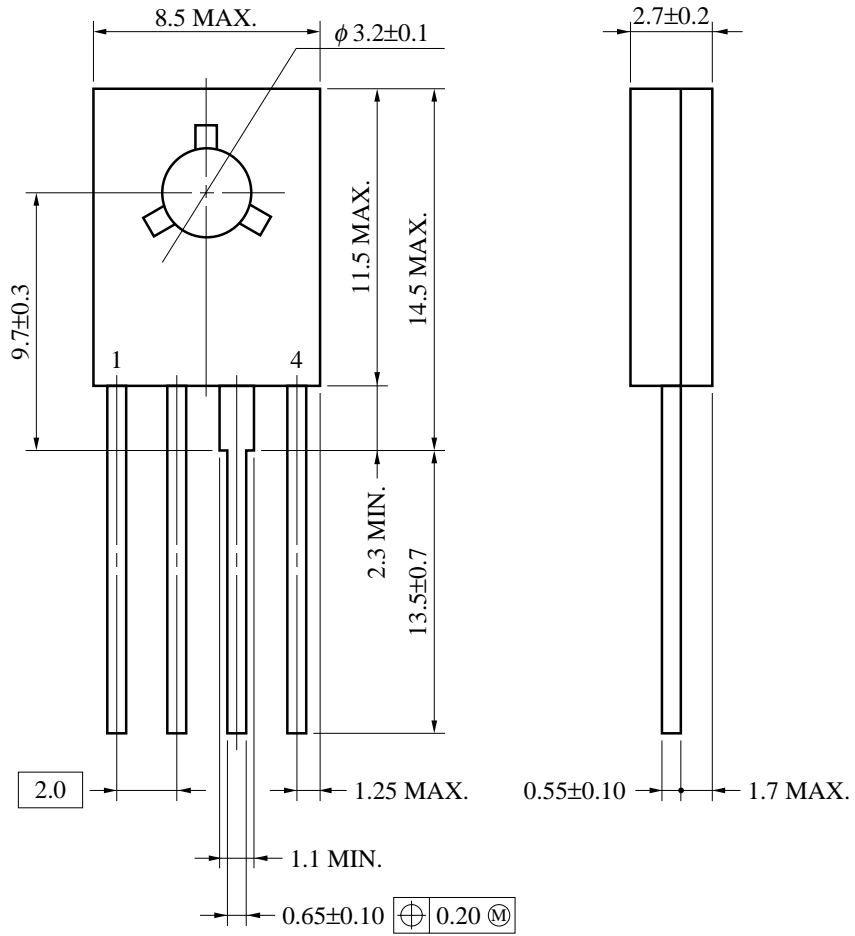
これらの電流制限値を越えてご使用になった場合は、過電流制限回路により、規定の出力電圧に達しないことがあります。

図 1 μPC2250 シリーズ出力電流制限値



外形図

4ピン・プラスチック SIP (TO-126) 外形図 (単位: mm)



P4HP-200B-1

## 半田付け推奨条件

この製品の半田付け実装は、次の推奨条件で実施してください。

半田付け推奨条件の詳細は、インフォメーション資料「半導体デバイス実装マニュアル」(C10535J)を参照してください。

なお、推奨条件以外の半田付け方式および半田付け条件については、当社販売員にご相談ください。

## 挿入タイプの半田付け条件

## μPC2251H, 2253H, 2255H : 4ピン・プラスチック SIP (TO-126)

半田付け方式	半田付け条件
ウェーブ・ソルダリング (端子のみ)	半田槽温度：260 以下，時間：10 秒以内
端子部分加熱	端子温度：300 以下，時間：3 秒以内 (1 端子当たり)

**注意** ウェーブ・ソルダリングは端子のみとし、噴流半田が直接本体に接触しないようにご注意ください。

[メ モ]

- 本資料の内容は予告なく変更することがありますので、最新のものであることをご確認の上ご使用ください。
- 文書による当社の承諾なしに本資料の転載複製を禁じます。
- 本資料に記載された製品の使用もしくは本資料に記載の情報の使用に際して、当社は当社もしくは第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。上記使用に起因する第三者所有の権利にかかわる問題が発生した場合、当社はその責を負うものではありませんのでご了承ください。
- 本資料に記載された回路、ソフトウェア、及びこれらに付随する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するためのものです。従って、これら回路・ソフトウェア・情報をお客様の機器に使用される場合には、お客様の責任において機器設計をしてください。これらの使用に起因するお客様もしくは第三者の損害に対して、当社は一切その責を負いません。
- 当社は品質、信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生します。当社半導体製品の故障により結果として、人身事故、火災事故、社会的な損害等を生じさせない冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等安全設計に十分ご注意願います。
- 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「特別水準」およびお客様に品質保証プログラムを指定して頂く「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認の上ご使用願います。  
 標準水準：コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット  
 特別水準：輸送機器（自動車、列車、船舶等）、交通用信号機器、防災/防犯装置、各種安全装置、生命維持を直接の目的としない医療機器  
 特定水準：航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器、生命維持のための装置またはシステム等  
 当社製品のデータ・シート/データ・ブック等の資料で、特に品質水準の表示がない場合は標準水準製品であることを表します。当社製品を上記の「標準水準」の用途以外でご使用をお考えのお客様は、必ず事前に当社販売窓口までご相談頂きますようお願い致します。

M7 98.8

## — お問い合わせ先 —

### 【技術的なお問い合わせ先】

NEC半導体テクニカルホットライン  
 (電話：午前 9:00～12:00、午後 1:00～5:00)

電話 : 044-435-9494  
 FAX : 044-435-9608  
 E-mail : s-info@saed.tmg.nec.co.jp

### 【営業関係お問い合わせ先】

#### 第一販売事業部

東京 (03)3798-6106, 6107,  
 6108  
 名古屋 (052)222-2375  
 大阪 (06)6945-3178, 3200,  
 3208, 3212  
 仙台 (022)267-8740  
 郡山 (024)923-5591  
 千葉 (043)238-8116

#### 第二販売事業部

東京 (03)3798-6110, 6111,  
 6112  
 立川 (042)526-5981, 6167  
 松本 (0263)35-1662  
 静岡 (054)254-4794  
 金沢 (076)232-7303  
 松山 (089)945-4149

#### 第三販売事業部

東京 (03)3798-6151, 6155, 6586,  
 1622, 1623, 6156  
 水戸 (029)226-1702  
 広島 (082)242-5504  
 高崎 (027)326-1303  
 鳥取 (0857)27-5313  
 太田 (0276)46-4014  
 名古屋 (052)222-2170, 2190  
 福岡 (092)261-2806

### 【資料の請求先】

上記営業関係お問い合わせ先またはNEC特約店へお申しつけください。

### 【インターネット電子デバイス・ニュース】

NECエレクトロニクスデバイスの情報がインターネットでご覧になれます。

URL(アドレス)

<http://www.ic.nec.co.jp/>